



(旧和商)

和商同窓会会報



(新和商)

(発行所) 和歌山市砂山南3丁目3-94

県立和歌山商業高校内 TEL 436-6456

社団法人和商同窓会

(第31号) 平成16年3月1日(月曜日)

創立百周年を迎え 記念事業に協力を

理事長
小川 武

県和商創立100周年の記念すべき年を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。



平素は本同窓会活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

明治37年に開校以来、すでに3万人近い卒業生を送り出し、先輩諸氏は、文字通り全国各地・各分野で指導者として活躍されておられます。

心強く思っております。また、在校生の皆さんも緑豊かな木々と美しい草花に囲まれた、良好な学習環境の中で、勉学に部活動にと、輝かしい実績をあげておられることを誇りに思っております。

県和商では国際化や情報化時代に対応した情報処理科、会計科、国際経済科の設置や和歌山工業高校と星林高校との3校間連携、和歌山ろう学校との2校間協力を得てのインターンシップの実施など全国に先駆けてユニークな取り組みをされておられます。

これもひとえに歴代の校長先生をはじめ諸先生方の教育に対する情熱と真摯なご努力の賜であると存じ、心から敬意を表します。

さて、いよいよ本年は県和商創立100周年を迎えます。本事業並びに本校充実発展のため、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

現在使用させて頂いている和商会館は、丁度20年前、県和商創立80周年記念事業の一環として、同窓会の方々のはじめPTA並びにご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年3月1日350余名がめでたくこの県和商を巣立って行きます。伝統の同窓会が増え、これを改めて心よりお喜び申し上げます。

さて、いよいよ本年は県和商創立百周年という大きな節目の記念すべき年を迎えます。

環境のなかで、勉学に部活動にと、輝かしい実績をあげておられることを誇りに思っております。

記念事業の実施に際して募金をお願いいたしましたところ、多くの卒業生の皆様からご賛同をいただき誠にありがとうございます。

この場をお借りしまして心から御礼申し上げます。皆様からいただきましたご厚志は有効に活用させていただきます。

今年、11月21日には100周年記念式典を開催いたしますし、また、多くの記念事業の予定もご用意しております。

皆様には是非とも、ご臨席していただき、あの懐かしい青春の日々にタイムスリップし、旧友との再会、思い出話に花を咲かせてください。

これらの事業を大成功に導くにも卒業生の皆様の力を借りたくはなりません。本事業並びに本校充実発展のため、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校充実発展のため、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、県和商の益々のご発展と卒業生皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

ご挨拶とさせていただきます。

平成16年3月卒業生の新第53期生の評議員決まる

平成16年3月卒業の新しい第53期の評議員はつきぬの通り決定しました。

(◎印は代表評議員)

1組 谷野康子、山片紗

2組 ◎慶忠仁、西

3組 浦永史菜、3組 茨木佑歌

4組 勝田真由美、4組 辻直美

5組 田ひとみ、◎阪口真衣、5

6組 柳本美佳、9組 中野真

7組 嘉味田美美、温井美咲

8組 吾、武田真司

9組 武田真司

10組 武田真司

11組 武田真司

12組 武田真司

13組 武田真司

14組 武田真司

15組 武田真司

先人からの誇り 大門川の桜並木

第5期生
山路周三

この話は82年前、詰懐、短靴に、海軍式ゲートルを巻き、ニギビの吹き出した紅顔の学生達が、若き血を躍らせ、燃えたる青春の魂がこめられた物語である。

環境問題が大きな社会のテーマとなっていた1988(昭和63)年10月、海や川、そして湖を美しくしよう。

内川の美化を進めよう。上流はもっと綺麗にしなければ、居住環境美化に対する市民運動は大きなうねりとなって、地域の人々を巻き込んでいく。

この頃であった。この情報が河川を管理する和歌山県河川課の知るところになり自治会に対し無情にも撤去せよとの行政指導があった。

河川敷に多年木を植樹することは治水上支障が降りかかるような左岸の桜を、従って認められない。

併せて河川改修に伴い左岸の桜も伐採する方針であった。

昔学生さんが植えたらしい人材を送り出すべく努力してまいる所存であります。

「環境が人間を作る」という言葉があります。その一つには、樹木の緑、花のミツや花粉、種子や果実と、知らず知らずのうちに接することによって人間の感性を育んでいること。

母校創立百周年の記念行事が盛大に開催できますことを、また、母校と同窓の永却の繁栄を祈念いたします。

66名の卒業生は近づく軍靴の響きに、何れ国家に殉じ「靖国の華」となる時が来るであろう。進る熱き青春の思いと、何かをしなげればならない使命感に、議論に議論を重ね、自らの心に刻み、後世に語り継がれることは何なのか？

互いに愛する友の情の絆と、人を愛することを語りあい、悩み考え抜いた末、清流、流れる大門川左岸に桜の苗木を植えたのであろうと思う。愛情

こめて植えられた苗木には、一本、一本、誰にも打ち明けられ、和歌山県では「管理は出来ないが地元で管理していただくことが出来るのであれば黙認します」との回答を得ることが出来た。

「(勿論自治会の方が植えた右岸の桜も)河川改修事業は1980(昭和55)年1996(平成8)年に

かけて行われたが地元自治会の方々の熱意と努力(害虫対策は和歌山市が補助)と和歌山県の理解のお陰で、時代を切り開いた壮挙ではないか？

今、この桜を見て、当時にも梅、椿、サツキ、菊など桜のほかにも四季折々に色とりどりの花を咲かせるものがあるのに、何故桜なのか？

桜には豊作を祈る宗教的儀式があるとされていく。「時差は金なり」と云った昔話など死語となつてしまった。すでに地球上に時差など存在しない。時神が降り来たことを祝い豊作を祈ったと文献で読んだことがある。後年、海軍市長、故野田聖太郎氏(元本校教諭)らが中心となり66名の卒業生が、卒業記念に植えたものなんだ。

大正12年といえは関東大震災があり、翌13年には全中中学校に軍事教練が義務づけられ、14年には陸軍現役将校が学校に配属されている。

66名の卒業生は近づく軍靴の響きに、何れ国家に殉じ「靖国の華」となる時が来るであろう。進る熱き青春の思いと、何かをしなげればならない使命感に、議論に議論を重ね、自らの心に刻み、後世に語り継がれることは何なのか？

互いに愛する友の情の絆と、人を愛することを語りあい、悩み考え抜いた末、清流、流れる大門川左岸に桜の苗木を植えたのであろうと思う。愛情

「百年の重み」 環境が人間を作る

学校長
林 桂石

結ばれているものと確信するところでありませぬ。

「百年の重み」とは何ぞや、ありませぬ。

中学生の体験入学の感想文に「学校の環境が素晴らしいから、在校生は勿論のこと、

入られ、近代的な中に重厚な風格と品位を表わした会館として建設され、在校生とのかけ橋となるよう、寄贈下さいました。その後20年間、在校生は勿論のこと、

入られ、近代的な中に重厚な風格と品位を表わした会館として建設され、在校生とのかけ橋となるよう、寄贈下さいました。その後20年間、在校生は勿論のこと、

入られ、近代的な中に重厚な風格と品位を表わした会館として建設され、在校生とのかけ橋となるよう、寄贈下さいました。その後20年間、在校生は勿論のこと、

豊かな人間性を 備えた人の育成

頭 萩原勝則

いよいよ和商創立百周年記念、PTA、教職員等への原稿依頼・収集・校正の取組が進んでいます。また、海外研修事業をはじめ、他の事業につきまして、計画の具体化が進んでいます。皆さんの忌憚りなくご意見を賜り、協力をお願いします。また、この1年の百周年記念関係の主な取組を、6月に第4回、平成16年1月に第5回の発行委員会を開催し、9月に2回目の募金募集の趣意書を発送することや、記念事業の主な取組計画を決定いただき、また、本校の全教職員が10の各種校内委員会(記念誌編集や募金、海外研修等)を組織し取組を強化してまいりました。12月から本校職員にも寄附を呼びかけ、募金の目標達成に向け、現在、取り組んでいます。現在、目標達成に向けての募金活動が最大の課題となっています。記念事業関係では、記念誌編集の作業として同窓会からの支援があった

8年前から徐々に実力を発揮し、ベスト4を常に確保しつつ、優勝を目指して頑張ってきました。日々の練習を積み重ね、特に土日が週休2日制になってからは、県外遠征・合宿・練習試合を繰り返してまいりました。平日は早朝練習、放課後は4時より7時、時には8時まで生徒達はよく頑張りました。その陰には保護者の皆様のご協力と生徒や先生方の応援。PTA、

私は1年間生徒会副会長として、色んな生徒会活動に参加してきました。私が副会長になったのは、野球部の応援団に入ったのがきっかけでした。先輩の生徒会役員の人たちに出会い、それから昨年の文化祭実行委員会を通して生徒会とはどういう活動をしているのかというのを知り、自分も先輩方のように役員みんなが力を合わせ、楽しい生徒会を作りたいと思い、副会長をやろうと決心しました。でも、自分が思っていた以上にみんなが力を合わせ、仲良くしていきたくて、役員全員が集まっていくつかのグループで行われると共に、長年の希望であった東館北端への階段の新築工事も併せて施行されました。本校の素晴らしい中庭を巡る景観が統一されることも、防災・安全面においても一層充実することとなります。設備面では、80台のコンピュータ(2教室)が最新の機種に更新され、高度情報化と



女子バレーボール部
伝統ある女子バレーボール部は、3年生10名が引退後、16名の部員で「念ずれば花開く」というチームの精神(目標)のもと、日々練習に励んでいます。今年度は念願の優勝を29年振りについに果たし、全国高校総体大会(長崎県佐世保市)に出場することができました。

新チームの次の目標は、春高バレーで全国大会に出場することです。「春高バレー」に出場を合言葉に、毎日練習に励んでいます。04年は学校創立100周年を迎える年でもあり、ぜひ大願成就を果し、和商の名前を全国高校総体大会に続き、全国に示したいと思っています。これからも応援よろしくお願います。

このまま終わってしまうのかと思うこともありましたが、しかし1年間の活動を通して少しずつ仲良くなり、今は全員が一つのことに力を合わせて活動し、自分の思っていることなどを出し合えるようになりました。そんな私達生徒会の活動は、大会へ出場する各クラブの壮行会や、文化祭・体育祭の準備、後片づけ、また、校内で定期的に発行している生徒会新聞も役員一人一人が、季節ごとの校内情報やお知らせなどを書いて発行しています。

活動の中で、今年、役員全員が協力をして作り上げた。活動の中で、今年、役員全員が協力をして作り上げた。活動の中で、今年、役員全員が協力をして作り上げた。

活動の理解を求めて
アピールと協力を
生徒会活動を願って
生徒会副会長 木下恵里

色々な行事を通して、生徒会というものは雑用仕事も多く、他の人から生徒会を見れば何もやっていないように思われることが多いです。文化祭当日は、朝も早いですが、体育祭で早く学校に来て、体育館に門を立て渡り廊下に看板を2枚掛け、放課後には、そつアイロンで丁寧に洗濯し、その日の夜や看板を取り外したりとみなで協力して最高の姿に仕上げたいと思います。

色んな行事を通して、生徒会というものは雑用仕事も多く、他の人から生徒会を見れば何もやっていないように思われることが多いです。文化祭当日は、朝も早いですが、体育祭で早く学校に来て、体育館に門を立て渡り廊下に看板を2枚掛け、放課後には、そつアイロンで丁寧に洗濯し、その日の夜や看板を取り外したりとみなで協力して最高の姿に仕上げたいと思います。

本校の教育方針にある「豊かな人間性を備えた人間の育成」のためにも極めて大切な活動であると確信しています。遅刻防止を徹底するために、『朝の十分間読書』を始業時に行い、その後SHRを行うよう校時を変更しました。「SHRは遅刻しても授業にさえ間に合えばよい」という甘えを許さず、遅刻を繰り返した

『読書』があります。本年度から、本校では『朝の十分間読書』を、朝の10分間読書として取り組むことになりました。『読書』の教育効果、その重要性は、40%程度程度に達しています。職業高校としては当然の「時間に厳しい指導」と、楽しく充実した『読書指導』を一体化させて、粘り強く指導していきたいと思

変化に対応した改革と共、和商の「伝統」であり、

中庭に草花の 彩りを

学校事務 井上京子

私が、県立和歌山商業高校に赴任してきた時、最初に目に入ったのが中庭の様子でした。校舎の窓から見た中庭は、木が多く、クローバーが一面に生えていて、花の彩りはなく緑が多

私が、県立和歌山商業高校に赴任してきた時、最初に目に入ったのが中庭の様子でした。校舎の窓から見た中庭は、木が多く、クローバーが一面に生えていて、花の彩りはなく緑が多

私が、県立和歌山商業高校に赴任してきた時、最初に目に入ったのが中庭の様子でした。校舎の窓から見た中庭は、木が多く、クローバーが一面に生えていて、花の彩りはなく緑が多

私が、県立和歌山商業高校に赴任してきた時、最初に目に入ったのが中庭の様子でした。校舎の窓から見た中庭は、木が多く、クローバーが一面に生えていて、花の彩りはなく緑が多